

インフォシス、米国労働者に未来の機会を提供する新たな投資

デジタルキャリアの入り口として 2020 年までに求職者 500 人を Salesforce 技術職で採用

Salesforce の無料オンライン学習プラットフォーム「Trailhead」で Salesforce 認定アドミニストレーターおよびデベロッパー資格の取得プログラムを開始

ニューヨーク市（米ニューヨーク） - 2021 年 11 月 17 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NYSE: INFY) は本日、米国人を対象とした 21 世紀におけるハイテク部門でのキャリア構築準備プログラムを発表しました。このプログラムは 500 人の求職者に対し、Salesforce が認定する完全デジタルのオンライン・ディプロマコースを修了する機会を提供するもので、事前の適性テストではインフォシスのエントリーレベルの技術職とのマッチングが行われます。Salesforce の無料オンライン学習プラットフォームである [Trailhead](#) を活用し、500 人の米国人労働者を対象に、インフォシスで働く Salesforce の認定アドミニストレーターやインダストリー・デベロッパーを無料で養成します。

このプログラムは主要大学やリベラルアーツ系大学、短期大学の近年の卒業生を対象としており、インフォシスの今後の労働力の確保に役立つほか、有能な人材が多様な業界業種の従来職から未来型のデジタル職へと転身する新たな道を開く同社の取り組みを支えます。

インフォシスの Ravi Kumar 社長 は次のように述べています。「顧客が必要とする技術スキルの寿命は短くても、技術を習得できる才能は貴重であり、それに組織の信用が加わり、さらに、生産性が上がるよう個人の特定スキルが養成されたときには、非常にかげがえのないものになると日ごろから考えています。適材適所の人材配置は、創造性豊かな新たな方法を取り入れることで達成し易くなります。Trailhead を活用したこの弊社の新規デジタルスキル習得プログラムは、この目的に向けたさらなる投資であり、より多くの人材の採用を可能にすると同時に、より高みを目指せるような環境を作って、より多くの人々がアメリカンドリームを実現できるようにするものです。」

今回の取り組みに先立ち、インフォシスは既に米労働者向けのトレーニングや再教育への投資をいくつか行っています。昨年はコロナ禍を受け、米国での雇用ニーズを満たすための取り組みとして [Reskill and Restart（再教育と再スタート）](#) イニシアチブを開始しました。

Trailhead Academy GTM のシニアバイスプレジデントである Amy Regan Morehouse 氏は次のように述べています。「現在のデジタルファーストの世界では、企業として、従業員や需要の高い技術スキルを習得したいと願う人々に新たな学習の機会を提供する労働者育成プログラムに投資を行うことが非常に重要です。インフォシスなどの会社はデジタル技術教育の先駆者であり、当社は Trailhead により同社の再教育活動を後押しし、Salesforce のエコシステムに新たな雇用をもたらすことを楽しみにしています。」

インフォシスは、提携企業を通じて Salesforce 公認の多様な人材候補を新たに Salesforce エコシステムに取り込む取り組みである Salesforce Talent Alliance の一員であることを誇りに思っています。インフォシスは Pathfinder、Salesforce Military、Salesforce Fellowship Program、Hiring our Heroes など数多くの Salesforce の人材プログラムに参加しています。

Salesforce、Trailhead などは salesforce.com, inc. の登録商標です。

Trailhead について

Trailhead は Salesforce の無料オンライン学習プラットフォームです。このプラットフォームを使うことで、Salesforce エコシステムで仕事を獲得し、優れた力を発揮するのに役立つ世界的に認められた資格をどこからでも取得することが可能です。2014 年の開始以来、Trailhead では約 370 万人が将来仕事で役立つスキルを習得してきました。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 か国以上でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、
www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問合せ先

安藤 mktg_jp@infosys.com